





# 新春座談会



いと思います。  
ね。 司会 我が国の会計年度制も問題となるんでしょう

間的に追い込まれています。  
何とか策を構じていただけ  
ないでしょうかね。

**仕事量のバラツキが問題を生む**

**佐藤議長** 特に本県の場合は、リゾート関連施設や誘致企業の設備投資があり、加えて建設業関連業種については労働力の不足、技能者の高齢化などが要因となって入札不調や工期の遅れが社会問題化していますからね。建設業の保護・育成の意味からも、公共工事の平準化は進めなければなりません」と思います。

**星課長** 現行の標準工期は、過去何回かの見直しを経てきており、さらに昨年四月の段階で人手不足や休日分を先取りした形で標準工期に一〇%の上積みがされています。ですから今のこととは工程管理の中で対応していただきたい。

業界は、大きな反動で打ちのめされはしないかとね。

**江花次長** 建築については、民間のシユアが非常に大きいわけで、それを適正な形で誘導するような行政が必要なんじゃないかと思います。しかし、これを実現するためには、指導側の組織体制を強化しなければならないことから、多くの方々からも「建築行政や住宅行政をしつかりせよ」という生の声をだしていただ

融資装置をどんどん採用するわけにはいかないもので  
しょうかね。

さうした意味で、今必要なのは、道路の混雑を緩和するための情報設備ではないでしょうか。こうしたものは、昔は附帯的なものと考へられていましたが、今は絶対に必要です。交通情報を要所で電光掲示することは社会のニーズです。

れております。技術力は  
そんもありませんので、地  
元業者の活用をぜひお願  
したいと思います。

**渡辺部長** 県としては基  
本的に県内業者を優先して  
工事発注を行う方針を取つ  
ております。電気工事に  
ついては特殊なものを除き、  
七五%以上は地元の皆さん  
にお願いしています。今後  
も地元業者の活用に努めて  
いきたいと思いますので、  
御協力ををお願いします。

**司会** 本日は、お忙しい

情報化を助ける設備

を予定しており、この投資額は八十六億円が見込まれます。このうち電気設備のシェアは約九%を占めており七億七千万円程が、皆様方関係業者に委ねられます。になります。また時代の

事業は、福島・郡山・ときの三地区で調査設計と共同施設整備を行つとしています。  
一方、ソフト分野で高齢者等にとって望ましい住宅設計の追求とモデ

者向住宅の建設を推進するための「高齢者や障害者等のための環境整備を支援する事業」をはじめ、優良木造住宅の建設促進のための政策や地域住宅計画推進業の展開、街並み整備促進などは、はるかに多くの取り組みがなされています。しかし、高齢化社会の実態に即して、より効率的な政策や計画が求められています。

くことにしています。  
**同会** ハード、ソフト、  
も事業は多いですね。そ  
では、協会のほうから今  
を振り返りながら、来年の  
展望についてお話ししてい  
だきたいと思います。

せんが、建設産業の構造改革は、善や体質の近代化を阻んでいる最も大きな要因が、建設生産活動の季節変動がありますね。本県など東北地方は、年度最初の出来高が全国平均を下回る一方で、その後のピーク時までは逆に上回るといった具合で、この季節変動の幅が大きくなっています。

東北の場合、積雪寒冷地であることを抱えるなどの特別な地域性がありますが、建設業の抜本的な構造改善を実現しようとする時には、避けられないハードルだと考えておきます。発注の平準化を図るために、四月と五月

工の実現でしょう。めざましい建設分野での技術革新をもってすれば、そう遠くなく成果が上がるのではないかと期待していますが、冬期施工実施に伴うコスト増など新たな問題も懸念されますね。

当面は、ゼロ国債に頼るようなことになると思います。

**江花次長** 平準化の対応等としては、部長のお話のようにゼロ国債が増やされれば一番いいんですね。そして制度化等により明確な形にする。

**大槻会長** 我々の力で力に陳情していきたいと思います。  
**司会** 松崎副会長のお足、とりわけ若年者の確実に向けてのご意見はありますか。  
**渡辺部長** 最近の技能労働者や若年労働者の不足は本当に深刻ですね。業界でもイメージアップのため心に検討が重ねられていくようですが、やはり賃金休日増など、労働条件の改善を進めることが必要だと思います。  
**星課長** 休日の確保のめには、工期の問題もある

また今年は共通仕様書の見直しの時期にもなっておりますから、これらの作業の中で検討されていくことと思います。

話がさかのばるんです。も自治体に派遣されたことがありますから、市村のトップの理解がなければ難しい。

に りに最しお分 と場も れ町の予と私



# 年頭のこあいさつ

新春を迎え、謹んで年頭のごあいさつを申し上げます。新しい年の門出にあたり皆様の御多幸を心からお祈り申し上げるとともに、平素、住宅・建築行政にお寄せいただきおり、支援とご協力に対し深く感謝いたします。

皆様の御多幸を心からお祈り申し上げるとともに、平素、住宅・建築行政にお寄せいただきおり、支援とご協力に対し深く感謝いたします。

## 豊かな生活環境を整備

福島県土木部

住宅課長 佐藤昭夫



(1) 長寿社会の基盤づくり  
（高齢者・障害者住宅環境整備支援事業）

（2）地域のイメージづくり  
（モデル都市景観推進事業）

新春を迎える皆様のご健勝とご多幸を心からお慶び申し上げます。

ご承知のとおり一年以来建設業を始め私共電気工事業界は好況に恵まれ、夫々の企業において、業績も向上され経営も安定されております。

この機会に資本の蓄積を図り、必ず来るであろう状況に対応する準備を心掛け必要があると思います。

さて私共電気工事業界は現在大きな転換期に入っています。昭和六十二年八月の電気工事二法の改正に

伴ない第一種電気工事資格取得講習が行われております。

得本年八月までには認定を含め約五千名の有資格者が誕生いたします。又電気工事施工管理技術者の資格も導入され、更に自家用発電機の取扱い技術者としての資格取得が必要となります。

電気工事業界はまさに容易でない時期に入っています。

このような状態で、結論から申上げますと、私共業界は長期にわたって大き

な変貌を遂げることになり

ます。業界の再編成です。企業の系列化であり、協業化であります。

現在県内に千三百社の企

業界は大きな転換期

ではないと考えられます

二十年後に一度に変えることは出来ない。そのため今から徐々に対応改善を考えねばならないと思います。

ことは出来ない。そのため今から徐々に対応改善を考えねばならないと思います。

ことは出来ない。そのため今から徐々に対応改善を考えねばなりません。

現在のような低賃金、休日返上の長時間労働は最早

はありません。

はあらゆる資格をもつた高

度の専門技術者であり、そ

れなりの待遇を受けなければなりません。

はあらゆる資格をもつた高

度の専門技術者であり、そ

れなりの待遇を受けなければ

なりません。

はあらゆる資格をもつた高

度の専門技術者であり、そ